

学校通信

学校生活における大切なお知らせです

2010年2月20日発行 第82号 (毎月1回発行)

教務からのお知らせ	P4 ~ P5
事務室からのお知らせ 【高等学校等就学支援金の現状について】はP6でご確認ください。	P6
保健室・カウンセリングスペースからのお知らせ	P7 ~ P10
生徒支援からのお知らせ	P11
進路支援からのお知らせ	P12
『しごと悩み相談室』からのお知らせ	P13
『特別活動』のお知らせ	P14
今月の聖句	P15

<同封物>

進路ニュース(青) <3年次・卒業年次>

薬物について(緑) <全員>

進学教育センターだより第10号(桃) <全員>

志賀高原中高生春スキーキャンプ(黄) <全員>

ランゲージのご案内(カラー・両面) <全員>

YMCA学院高等学校

TEL 06(6779)5690 FAX 06(6779)1831 <http://www.ymcagakuin.ac.jp>

本校ホームページを4月より、リニューアルしています。是非ご覧ください。

「学校通信」はバックナンバーを含め、本校のホームページでも閲覧できます。



春への誘い

みなさんもお存知の通り、1月12日(現地時間)に、ハイチの首都ポルトープランス南部を震源としたマグニチュード7の強い地震が発生しました。YMCAでは、ハイチ地震被災地支援のための街頭募金を行い、多くの方々から募金をいただきました。当日は、風が少し強かったのですが、日差しのある暖かさを感じる日で、天候も応援してくれたのだと感じました。ハイチの復興が一日でも早くすすむように、みなさんと共に祈りたいと思います。

さて、生徒のみなさんは単位認定テストを終え、結果が気になるころだと思いますが、再テストなどがある人は、諦めずにもう少しの間がんばってください。

卒業予定のみなさんは、次の生活の準備に入りますが、高校生活を締めくくる時期でもありますので、ぜひ、充実した時間を過ごしてほしいものです。

まだまだ、寒い日が続くかと思いますが、春はそこまで来ています。この時期から三寒四温を経て、本格的な春へと季節が変わっていきます。この春への移り変わりを楽しんで、春を待ってみてはどうでしょうか。

本校の卒業要件

高校に3年以上在学すること。

74単位以上修得すること。

必要な教科・科目(必修科目)を履修すること。

「総合的な学習の時間」を3単位以上修得すること。

特別活動に30時間以上参加すること。

(「2009年度学務の手引き」より抜粋)

大阪YMCA 年間聖句

「受けるよりは

与える方が幸いである」

使徒言行録 20章 35節 (新共同訳)

Raising strong children and building a loving community
OSAKA YMCA  Since 1882

2009年6月～2010年5月

スケジュール

日	曜	行事予定など
2 月		
2/19	金	「筆記式テスト結果・答案」発送
2/22	月	〔学校通信〕発送
2/24	水	筆記式テストの再テスト 10:30~、再テスト代替課題提出締切 17:00 必着
2/26	金	「課題式テスト、筆記テストの再テスト・再テスト代替課題」返送（予定）
2/27	土	1・2 年次生対象保護者とともに進路を考える会
3 月		
3/1	月	
2	火	
3	水	2/28~3/14の間、 特別な用事がない限り 来校はできません。
4	木	
5	金	
6	土	
7	日	
8	月	
9	火	
10	水	
11	木	09 年度後期卒業式（大阪 Y M C A 会館）
12	金	
13	土	
14	日	
15	月	ホームルーム・10 年度前期講座説明会
16	火	
17	水	10 年度前期講座登録（年次別に担任と日時を予約）
18	木	10 年度前期講座登録（年次別に担任と日時を予約）
19	金	10 年度前期講座登録（年次別に担任と日時を予約）〔学校通信〕発送（予定）
20	土	
21	日	（春分の日）
22	月	（振替休日）
23	火	10 年度前期講座登録（年次別に担任と日時を予約）
24	水	10 年度前期講座登録（年次別に担任と日時を予約）
25	木	
26	金	10 年度前期講座登録（年次別に担任と日時を予約）
27	土	特別活動：街美化ボランティア（予定）
28	日	
29	月	
30	火	
31	水	

教務からのお知らせ

【単位認定テストの「筆記式テスト」の再テスト】 2月24日(水)

先に実施された筆記式テスト(追テストを含む)において、不合格となった講座のある人には、19日(金)の答案返送に合わせて、再テスト(講座によっては代わりに課題提出)の案内をお送りしています。

該当者は案内にしたがい、再テストは2月24日(水)に受験し、再テスト代替課題の場合は、2月24日(水)17時学校必着で提出してください。

再テスト・課題料が1講座につき1000円必要です。

該当者には納入の案内をお送りします。納入されない場合は単位が認定されませんのでご注意ください。いったん納入された再テスト・課題料は、理由に関わらずお返しできませんので、ご了承ください。

【ホームルーム】 3月15日(月) 在籍生全員対象(卒業生を除く)

今年度最後のホームルームであり、後期の成績表をお渡しした後、新年度前期の講座登録(受講する講座の申し込み)について説明し、担任と講座登録する日時の予約をします。

ホームルームを欠席された場合は、必ず担任と連絡をとってください。

登録は3月17日(水)から26日(金)のうち、年次別に指定された日(土日は除く)に担任と予約した時間に行います。

(2010年度の施設設備費を期日までに納入されてないと次年度の講座登録はできません。

「事務室からのお知らせ」参照)

ホームルームの日に、新年度前期に開講予定の講座のうち、注意を要するいくつかの講座について、内容を説明する会を開きます。出席は任意(希望者のみ)ですが、系列の選択講座などで不本意な登録をしないためにも、なるべく出席してください。

年次別ホームルームと開講講座の説明会の時間は次表のとおりで、教室は当日掲示します。(ホームルームは特別活動1時間になります)

時 限	時 間	ホームルーム(HR)と講座の説明会
2限目および3限目	10:30~11:05	1年次生(1A 1B 1C 1D)のHR
	11:10~11:35	新年度前期の開講講座の説明会 (特別活動にはなりません)
	11:40~12:15	2年次生(2A 2B 2C 2D 2E 2F 2G) および今期卒業しない3年次生のHR

【卒業予定者で「卒業認定の特例」適用の人へ】

この3月卒業予定者で、「卒業認定の特例」の申請により、必修科目の再テスト受験、再テスト代替課題提出の必要な人には、19日（金）の筆記式テスト結果送付時に、個人別に通知しています。個別の案内を見て間違いのないようにしてください。

追加講座を登録している人は、登録した講座を必ず受講し、テスト日（2月26日（金））にはテストを受験するように、再度確認をしてください。

特別活動の参加時間数が不足の人は、早急に充足させてください（〔学校通信〕12月号・1月号および今月号の「特別活動案内」参照）。

特別活動の報告書の締切は、2月26日（金）17時学校必着です。

【2009年度後期卒業式】 3月11日（木）

卒業式は、大阪YMCA会館（大阪市西区土佐堀1-5-6）で行います。

卒業決定者には、3月4日（木）頃、詳しい通知をお送りします。

（式場の広さの都合上、本校ではありませんのでお間違えないように願います。）

卒業生とその保護者のみが出席できます。

街美化ボランティア

3月27日（土） 16：00から約1時間（雨天決行）

作業のできる軽装で、10分前に1階ロビーに集まってください。その際、警察への届け用紙と学校の参加カードの両方に記名してもらいます。

（特別活動1時間。遅刻や途中で帰ったときは認定されません。）

事務室からのお知らせ

【新年度事務手続きについて】

新年度を迎えるにあたって、次年度も在籍予定の場合、「2010年度 施設設備費」の納入と生徒証明書用写真の提出が必要となります。「2010年度 施設設備費納入のご案内」と「2010年度 生徒証明書」用に必要な写真の提出用紙をすでに郵送いたしましたので、必ず下記期日までにお手続きください。(次年度「休学」する場合も同様の手続きが必要です。)

2010年度施設設備費(40,000円)の納入について

- ・納入期限は3月16日(火)です。納入手続きがない場合、2010年度前期の講座登録ができません。
- ・納入されない場合は、在学の意思がないとみなし、場合によっては退学になることがあります。
- ・施設設備費の延納手続きはできませんのでご注意ください。

「2010年度生徒証明書」について

- ・2010年度生徒証明書用写真の提出が必要です。「2010年度施設設備費」納入の案内とともに提出用紙を送付していますので、写真を添付して3月15日(月)までに提出(送付)してください。(証明用・背景なし・タテ3.5cm×ヨコ2.5cm・1枚)
- ・2010年度生徒証明書は、3月17日(水)から始まる2010年度前期講座登録時に担任より配布いたします。

【住所等変更手続きについて】

現在学校に届けている住所や電話番号などが変更になった場合は、速やかに「各種変更届」に記入・押印のうえ事務室へ提出してください。特に生徒証明書の切り替えの時期ですので変更事項が決まっている場合は早めに届け出るようにしてください。届出用紙は事務室にある他、「学務の手引き」の巻末にもあります。コピーして使用してください。

【高等学校等就学支援金の現状について】

2010年度より、国においては、私立高等学校等に通う生徒に対し、高等学校等就学支援金の創設が予定されています。同就学支援金については、通信制の本校も対象となっておりますが、支給額・時期・方法などの詳細については未だに決まっていません(2/15現在)。生徒、保護者のみなさまには、国が検討中の制度について、大阪府からの正式な通知がありましたら「学校通信」を通じてお知らせいたしますので、今後必ず確認をお願いいたします。

なお、状況を鑑み、必要がある場合には、別途郵便でお知らせする場合があります。

保健室・カウンセリングスペースからの お知らせ



* 法律で禁止されている薬物・ドラッグについて

ニュース番組などで一度は聞いたことがあるとは思いますが、絶対に知っておいて欲しいことがあります。もう一度、確認してください。

- ・持っているだけでも犯罪
- ・一回の使用で死に至ることもある
- ・使用すると、身体（細胞や骨など）と精神が壊されていく
- ・依存性が強く、意志があってもやめられなくなる

日本では、薬物の乱用を禁止し、法律（大麻取締法、毒物および劇物取締法、覚せい剤取締法、麻薬および向精神薬取締法など）で取り締まっています。薬物乱用とは、医薬品を本来の目的から逸脱した用法や容量あるいは目的のもとに使用すること、医療目的のない薬物を不正に使用することです。たとえ1度でも乱用にあたります。今月同封したプリントの他に、保健室にも簡単な冊子を置いてありますのでご覧ください。

* インフルエンザについて

インフルエンザの感染または感染の疑いと診断され、筆記式テストを欠席した場合は、学校（担任）へ連絡してください。

【カウンセリングスペース】

- * 後期の開室期間は終了しました。2010年度に関しては、4月以降に連絡いたします。
- * カウンセリングスペースについてのお問い合わせは保健室（後藤）まで。

【お願い】

保健室・カウンセリングスペースでの食事はご遠慮ください。

＜保健室・カウンセリングスペース便り＞

＜今回は、保健室とカウンセリングに関わる方々に、後期終了にあたってコメントを頂きました。＞

『今、私にできること』

月曜日担当 石井 邦也

会社(宅配便)のマークに、ペリカンを使っているのがあります。大きな口で、翼を広げ大空をゆうゆうと飛んでゆく、そんなイメージから配達物を着実に届けてもらえそうな安心感を受けます。わかりやすく親しみやすいマークです。

昨年暮れ、一冊の絵本を手に入れました。『ハチドリのひとつく いま私にできること』です。南アメリカ先住民に伝えられてきたお話です。

『... 山に火事が起こりました。森が燃え始めどんどん広がってゆきます。森の動物たちは火から逃げようと先を争ってその場を離れようとしています。そんな中、一羽のハチドリが、その小さなくちばしに水をくわえ森に向かって飛び、燃えさかる木にひとしづくの水を落としてはまた水場に戻り、一滴の水を森に落とすことを繰り返しています。仲間の鳥たちや動物たちが尋ねると、「私にできること、それを今やっているだけ」、そのハチドリはそう言ってまた森へ飛び立っていきます』

とても短い物語ですが長い年月を通し、森で暮らす先住民の人たちの間で語り継がれてきたのです。大切な教え、願いを守り伝えようという思いが込められてきたのでしょう。そのことにも心が動かされました。目の前の大きな出来事、想像もできないような大事件に対し、ペリカンのようなパワーはないのですが、小さな鳥が自分のできることを淡々とやり続けている。

世界のグローバル化で、国際競争が激しくなり、その市場に勝つような「人材」が求められ、できない人、負けた人、弱くされた人が『自己責任』を問われ隅に追いやられています。生きる意味も感じ取れないことも起こっています。

「一人ひとりが生きていること」そして「一人ひとりが何かできることがあること」、そんなことを先住民の人たちはとても大事にし、そのことを守り伝えてきたのでしょう。「ポトリ」、ゆっくりですがまた「ポトリ」。淡々と。

自分のできることは何なのか。それを探し、ゆっくりと淡々と続けてゆくこと、私の新年はこうして始まりました。

「現実の自己像と理想の自己像」

金曜日担当 道嶋 公子

「あなたって なところあるよね」って言われて、なんでそんなこと言うのだろうって悲しくなったり、無性に腹がたったりすることは、私の経験から言うとほぼ「あたり～」なことが多い。たとえば高校生の時。私は嫌いな人がいないと豪語していた。ところが、それを友人に言ったら「・・・」となり、ひとこと。「好き嫌いめちゃうちゃはっきりしてるで」って。「えっ？」って思った私に、その子は「あの子のこと好きか？」って私から一番遠い場所にいる人を指差した。「・・・」となる私に、「そうやる。あんたなあ、嫌いな人に対しては近寄るなって空気出しまくっているで。だから自分の近くにはいつも好きな人しかおれへんねん」って。

その時はその言葉をすっと受け入れられなかった。なぜなら、私は自己像を「どの人のことも愛せるいい人」と決めていたから、嫌いな人に対してそのような空気を出している自分がいるってことをすぐには受け止められなかった。だからこそ、そのことを言われたとき真実を言ってくれているのにも関わらず、相手に対して「なんでそんな意地悪なことを言うのだろう」と思い、そして悲しくなった。

しかし、事実は人に対して好き嫌いの激しい自分がいるということだった

そのころの私はそんな自分を認めると、自分が崩れるような気がしていたのだと思う。子どものころから持ち続けている自己像を否定されるということは、すなわち今までの自分が全部亡くなるくらいの恐怖を感じるのだと思う。だから「なんでそんなこと言うの。そんなこと言わないで」って。そして「わかっている。でも今は受け止められないのよ」って必死で今の自分をかばったのだと思う。それほど現実の自己像を認めるということは大変なことなのだ。

しかし実際に受け止めてみると思っているより自分は強く（その自己像も間違っていた）そのことを受け入れても意外に崩れなかった。そして結果自分がイキイキしたのだ。その上好き嫌いがはっきりしている私を認めたらなんだか自分を責めることが減った。なんだかいいこと尽くめだ。しかしこんなにいいこと尽くめなのに、当然自分の全てを受け入れられているわけではない。繰り返すことになるがそれほど今までの自分を手放すのは大変なことのように。等身大に自分に近づく、そして自分自身を精一杯生かす。どうも人ひとりひとりに与えられた一生の課題のようだ...。少しずつでも受け止めていける自分でありたいな。

『自分自身に“ご褒美”を』～カウンセリング雑感：2009 後期～ 水曜日担当 浅野 献一

人に肯定的に認められることは、心地の良いものです。逆に否定的に認められるということもあり、その場合は、生きることが辛いものとなっていきます。また、全く認められない、無視されると、生きること自体が空しくなってしまうものかもしれません。

なので、私たちはどのように認められるかに敏感になります。しかし、認める、認められるとは、なにも自分と他人との関係でのみ成り立つわけではありません。自分で自分を肯定的に認めても一向にかまわないのです。自分自身にご褒美を贈って（肯定してあげる）、祝うことは、生きる上ではとても大切な自分自身のケア（お世話）となるのです。

否定的なメッセージが満ち満ちている現代です。

今のままではイケナイ！変わらなければ！とコマーシャルは、言い続けています。また、景気の低迷で、就職したくても出来ずに、何社も落ちざるを得ない状況の中で、自信を失っている人も多くいるかもしれません。頑張っても、ガンバっても、その努力が認められず、また目標とするところが高すぎて、自分はダメだと思いついてしまっている場合もあります。

このような時代、そのような時にこそ、自分自身を褒めてあげたいと思うのです。何気ない日常生活のほんの小さな事柄 たとえば、今日は朝、ちゃんと起きることが出来たとか、あるいは、一時間でも集中して課題が出来たことでもいいでしょう を認めて、自分自身を肯定してあげる。

そのことは、自分自身への信頼（自己信頼性）を高め、力を得て、この生きづらい世の中を、希望を失わず、生きていくコツだと思うのです。

「仲間からもらったもの」

保健環境担当 谷口 佳江

自分の思いを真剣に聴いてもらった経験ってありますか？

私はもともと自分のことを話すのが苦手で、高校時代は自分の思いをほとんど話さず、心を閉ざしていました。しかし、大学時代のソフトテニス部の仲間は、何度も何度も私の思いを聴きたいと言ってきました。本当にしつこいほどに！

中学校のときから続けてきたソフトテニス。大学では試合に負けると、すぐに「やめる。」と言っていました。仲間に「なんで？」と言われても、最初は、かたくなに話そうとしない私がありました。1人で悩んでいる私に、「一緒に続けよう！」と声をかけてくれました。私は少しずつ自分の思いを話し始めました。みんな真剣に耳を傾けてくれて、私はとても安心しました。それから「できる！」と力強く励ましてくれました。そして、話すことによって、自分で気付かなかった自分の思い 私は「ソフトテニスがやっぱり好き」ということにも気付かせてくれました。「聴いてもらった」ことが私の力になりました。

それぞれの思いを聴くことを大事する仲間でした。もちろん、1人ひとりにそれぞれの思いがあります。お互いがお互いのことを考え、分かり合うためにたくさん話し合いました。お互いの思いが合わないと、受け入れていくしんどさもありました。ただ、みんなお互いを思いやり、よい方向に行くと思えることを大切にしていました。

私はソフトテニスを続けてきて、よかったと思います。自分の思いを話すこと、そして相手の思いを聴くことの大切さを知りました。仲間のあたたかさは私の心の中にいつまでも残っています。どんなに遠くにいても、応援してくれると思うのです。みんなに今でも感謝の気持ちでいっぱいです。

仲間からもらったもの。私もそれを周りの人に届けていきたいです。

「風邪じゃなくて喘息なんです！」～三つの体験と気付いたこと～ 保健室担当 後藤 さやか

2009 年度を振り返って、一つ目は一番頑張ったこと。それは「手洗いとうがい」です。

5月から流行が始まった新型インフルエンザ、秋には大流行が予想されていましたね。予防接種（注射）が苦手なので、病院に行かなくていいように、毎日実行しようと決めました。外出先から帰ったらまず洗面所へ。“とにかくかかるわけにはいかない！”という気持ちでなん

とか続けることができ、今は習慣になりました。保健室で仕事をしているのだから、もっと早くから習慣にしておけば良かったと思いました。

二つ目は感動したものや楽しかったことが多かったこと。

映画や舞台、コンサート、美術展などを鑑賞する機会に恵まれました。

こちらは十年以上続けている習慣ですが、家計簿にそのチケット・パンフレットなどをたくさん添付しました。こういうものが多くなると、“おとなになったなぁ”と感じます。以前の家計簿を見返すことはそれほどないけれど、数年前には興味がなかったことも、お金がかかるから行けないなぁと思っていたことにも、今は楽しむことができ、行って良かったと思えます。

三つ目はちょっとしんどかったこと。仕事初めの1月5日、朝起きたら声が出なくなっていました。

高校生で突然診断された「気管支喘息」。原因ははっきりしないけど、空気が急に冷たくなることで喘息になる人もいると言われました。起きている間は比較的楽でも、横になると咳が出て眠れないので、それからの二週間程が本当に大変でした。周りの人たちが心配してくれるのはありがたいけれど、話さないといけないのに説明する声が出ない。「風邪？」とか「大丈夫？」と、聞かないで欲しいと思ったこともありました。それよりもつらかったのは、何か話したい事がある時です。“思っていることを伝えられないってストレスがたまる”と思いました（聞く方も聞きづらかったと思いますが）。話したい事を話したい時に話せることは、当たり前ではありません。とても重要なことだったと改めて実感できました。

この一年間、みなさんにはどんなことがありましたか？ 2010年度も色々な体験と発見がありますように。

「オリンピックといえば夢？」

保健環境担当 加志 勉

カナダのバンクーバーでの冬季オリンピックがスターとしました。女子モーグルの上村愛子選手、後一步でメダルに届きませんでしたね、惜しかったですね。フィギュアスケートの男子の高橋選手・織田選手はメダルが取れるのでしょうか？ また、浅田選手はキム・ヨナ選手に勝てるのでしょうか？ 楽しみです。

私が初めてオリンピックを見たのは、1972年8月26日から9月11日まで、西ドイツ（現・ドイツ）のミュンヘンで行われた夏季オリンピックでした。当時小学校高学年だった私は、体操競技の塚原選手の鉄棒の演技「月面宙返り」を見て大変驚きました。同じ人間がやっているとは思えませんでした。今でもあの演技が目には焼きついています。そして、小さい頃から身体を動かすのが好きで幼稚園の頃は、近くの公園で毎日鉄棒やブランコをしていた私は、それがきっかけで体操競技のファンになりました。また、当時の小学校の担任の先生が体育好きの先生で、体育の授業で逆立ちをしたり、当時してみれば高い跳び箱に挑戦させたり、生徒を5人ぐらいマットに並べた上をとびこみ前転で跳ばせたりと、今思えば結構無茶なことをさせてくれました。

そして、徐々にオリンピック出場という「夢」を持つようになりました。もちろん簡単に実現可能な夢ではありませんが中学、高校、大学と体操部に所属し、毎日練習を続け夢に近づこうとがんばりました。しかし、高校、大学へと進むにつれ夢の実現の可能性の低さを痛感しました。でも、当時に見た夢は、いい思い出となりました。特に、大学1年の夏に鉄棒で「月面宙返り」ができた時は自分で感動をしました。また、何かに打ち込んだ毎日は今の自分の糧になっていると思いますし、そこで出会えた恩師や仲間は私の宝物となっています。

皆さんもきっと何か夢を持っていると思いますし、持っていたと思います。簡単に実現可能な夢はありません、少しずつ夢に向かって進んでください。

生徒支援からのお知らせ



【スクーリング終了後から新年度スタートまでの学校利用について】

先月号でもお知らせしたとおり、スクーリング終了後から新年度がスタートするまでは自習室・スポーツヤードを含めた学校施設は利用できないので、特別な用事がない限り、生徒のみなさんは来校しないでください。

再テストを受験する必要がある人や再テスト代替課題の提出が必要な人は、日程をよく確認してください。

3月になると、ホームルーム・新年度の講座登録などがあります。学校通信で日程を確認しておいてください。

進路相談など相談がある人は、事前に担任に連絡をとってから来校してください（月～金の10:30～16:00の範囲で受け付けます）

くらぶ・サークル活動をする人は事前の活動計画を提出し、それに従ってください。

【長期休暇】

単位認定テストが終了し、ほっとしている時期だと思いますが、通信制の長所である長期休みを有意義に過ごしてください。旅行に出かけたり、ふだんあまりできないようなことを始めてみるのもいいのではないのでしょうか。また、大学・専門学校に進学を希望する人はそのための受験準備を始めるのもいいでしょう。通信制の特徴を活かし、新しい体験を通じ、新しい自分を発見してみてください。新年度にたくさんのお土産話を聞くのを楽しみにしています。

【「学務の手引き 2010 年度版」について】

「学務の手引き 2010 年度版」を現在改訂作業中です。3月15日（月）のホームルームでお渡しする予定です。変更点などはホームルームなどでお知らせできると思います。受け取ったらよく読んでおいてください。

貴重品に注意しましょう

残念ながら、今までに何度も紛失・盗難の報告があります。さいふなどの貴重品は教室・ロビーなどに置いたまま離れないようにしましょう。ちょっとした注意でそういった被害は防げるものです。学校としても、スクーリング時の教員による巡回を強化いたします。

進路支援からのお知らせ

【2010年度入試について】

私立大学の一般前期入試もほぼ終了し、まもなく国公立大学の2次試験が始まります。2010年度入試も大詰めの時期となりました。これから受験をむかえる皆さんは、健康に留意し、最後まであきらめずにがんばってください。

万一、不本意な結果になった場合は、できるだけ早く担任または進路支援部に相談に来てください。私立大学後期入試等、チャンスはまだあります。

【保護者とともに進路を考える会】

<1、2年次生の皆様へ>

1、2年次生にとっては、将来の進路を考え始める時期を迎えています。

つきましては、下記のとおり「保護者とともに進路を考える会」を開催いたします。ぜひご出席ください。

「保護者とともに進路を考える会」(別途案内送付済み)

日 程 : 2月27日(土)

時 間 : 2年次生 10:00~12:30頃

1年次生 14:00~16:00頃

場 所 : 本校(教室については、当日ロビーに掲示します)

内 容 : 「生徒自身そして保護者が進路についてどのように向きあえばいいのか？」

2年次生 : 「卒業予定者・卒業生に聞く」

1年次生 : 「生徒に任せること・保護者ができること」

林田 明子さん(大阪府若者サポートセンターカウンセラー、
本校「しごと悩み相談室」カウンセラー)

*2月19日(金)に申し込みを締め切っていますが、ご希望の方はご遠慮なく、進路支援部にお申し出ください。

『しごと悩み相談室』からのお知らせ

『しごと悩み相談室』が10月にスタートして5ヶ月が過ぎようとしています。自分自身の生き方を考えるヒントとして『相談室』を活用している生徒さんが増えてきています。

現在、進路支援部で生徒の皆さんの進学や就職に関する情報を取りまとめています。「やったー合格した!」「あかん。面接が全然やった...」人それぞれですが、皆さんが少しずつ自分自身の人生と向き合っているのがひしひしと伝わってきます。

『相談室』はいわゆる「就職」の相談だけをする場所ではありません。「はたらく」ことについて何でも「おしゃべり」できるところです。

高校を卒業してすぐ就職を希望する生徒さんも、大学や専門学校への進学を考えている生徒さんも、その先が続いていきます。卒業後の進路や次のステージについて、まだ考えたことのない生徒さんも、少しずつ考えている生徒さんも、明確な目標がある生徒さんも、一度『相談室』をたずねてみてください。

卒業年次の生徒さんはもちろん、1~2年次の生徒さんもまずは自分のペースを大切にしていって、少しずつ「将来のはたらいている自分」がイメージできるようになればいいですね。

『相談室』は生徒さんだけでなく保護者の方々や卒業生も活用できます。もしお時間が取れるようでしたら一度いらしてください。

『しごと悩み相談室』

開設期間：2009年10月1日～2010年3月31日

開設日：毎月第1・3月曜日

時間帯：10時から13時（1人約50分／一日3人の予約制）

場所：カウンセリング・スペース（2階）

対象：生徒・保護者・卒業生

担当：林田 明子さん（大阪府若者サポートステーションカウンセラー）

* 3月は、3月1日（月）、3月15日（月）に開設します。

* 予約が必要ですので、進路支援部（池本・鮫島）へお問い合わせください。

特別活動のお知らせ

映画・アートを見よう！

学校で指定した校外での展覧会、映画・ビデオ鑑賞で特別活動時間を認めます。特別活動時間が不足しがちな人は活用してください。

指定以外のものは認定できません。また休学中の申請も認められません。

利用の仕方

学校で指定した展覧会、映画・ビデオ鑑賞を行う。

を証明するもの(チケットの半券・タイトル名が書かれてあるビデオレンタルの領収書、レシートなど)を学校に持参して、所定の用紙に必要事項(鑑賞、観覧日時、感想文など)を記入し申請する。

がない場合は、認定できません。

それぞれの詳細情報(地図、上映・開館スケジュールなどについては、各自で問い合わせてください。)

2月 それぞれ特別活動2時間に認定します。

お知らせ：後期卒業予定のみなさんは、2月26日(金)までに申請してください。

展 覧 会	聖地チベット ポタラ宮殿と天空の至宝展 1/23～3/31 まで	大阪歴史博物館 大阪地下鉄「谷町4丁目」駅	高校生 750円(前売 600円)
	没後十年 小倉遊亀展 2/18～4/4	兵庫県立美術館 阪神「岩屋」駅徒歩10分	高校生 900円(前売 700円)
	チュニジア世界遺産 カルタゴと古代ローマ展 2/11～4/4 まで	京都文化博物館 京都地下鉄「烏丸御池」駅徒歩3分	高校生 900円(前売 750円)
映 画	インビクタス 負けざる者たち 上映中 アポロシネマ他	1994年、マンデラ(モーガン・フリーマン)はついに南アフリカ共和国初の黒人大統領となる。いまだにアパルトヘイトによる人種差別や経済格差の残る国をまとめるため、彼はラグビーチームの再建を図る。1995年に自国で開催するラグビー・ワールド・カップに向け、マンデラとチームキャプテンのピナール(マット・デイモン)は、一致団結して前進する。	
	人間失格 2/20～ なんばパークスシネマ他	議員の父親を持ち、津軽では有名な資産家の御曹司・葉蔵(生田斗真)は人間関係がうまくいかず、周囲に溶け込むためにわざと失態を犯して笑いを取る日々を送っていた。高校に入った葉蔵は遊び人の堀木(伊勢谷友介)や詩人の中原中也(森田剛)と出会い、酒や女におぼれる放蕩(ほうとう)生活を送るようになって、精神的に疲弊していく。	
ビ デ オ	コトバのない冬 2/20～ シネヌーヴォ	北海道のある小さな町。父親と暮らす黒川冬沙子(高岡早紀)は、単調ながらも幸せな日々を送っていた。ある日、閉鎖された遊園地で一人の男(渡部篤郎)と出会う。男はコトバを話さなかった。しばらくして、冬沙子は仕事先で落馬事故を起こす。大事には至らなかったが、少しの間の記憶をなくしてしまっていた。	
	ミリオンダラーベイビー (2004年) 監督：クリストファー・ノーラン 主演：ヒラリー・スワック	ロサンゼルスで古いボクシングジムを営むフランキー(クリント・イーストウッド)は、タイトルマッチに挑戦寸前で、唯一の金のたまごでもある選手によそのジムに移籍され意気消沈していた。	
	アミスタッド (1997年) 監督：スティーブン・スピルバーグ 主演：マシュー・マコノヒー	スティーブン・スピルバーグ監督が実話をもとに描いた感動作。奴隷制度が横行していたかつてのアメリカを舞台に、彼らを救おうとアメリカ法制度に疑問を投げかけた元大統領、ジョン・クインシー・アダムズの闘いを描く。モーガン・フリーマン、アンソニー・ホプキンス、マシュー・マコノヒー共演。1839年夏、嵐の吹き荒れる夜、キューバの海岸沖でスペインの奴隷船ラ・アミスタッド号の船倉に捕らわれていた53人のアフリカ人たちが暴動を起こした。乗務員を殺害し、船を乗っ取った彼らの目的はただひとつ、母国アフリカに帰ること。だが彼らは2ヶ月後、アメリカの沿岸警備船に取り押さえられ投獄。死刑確定となる・・・。	
オ ブ ジ ム	ブルースオールマイティ (2003年) 監督：トム・シャドヤック 主演：ジム・キャリー	アンカーマンを目指す地方局のひょうきんレポーター、ブルース・ノーラン。ある日、彼に出世の布石となる生レポートの仕事が舞い込んでくる。だが本番直前、ライバルが次期アンカーマンに決定したことを聞いたブルースは、ショックのあまり減茶苦茶なレポートをしたため局をクビに。さらには恋人グレースの慰めも聞かず、天に向かって文句を吐く始末。そんなある時、彼のポケベルに謎の電話番号から呼び出しが掛かる。指定の場所へ行ってみると、なんと待っていたのは神様本人。神様は「不満があるなら君がやれ」と、ブルースに全能を授けるのだった...	



今月の聖句

『主に望みをおく人は新たな力を得
鷲のように翼を張って上る。
走っても弱ることなく、歩いても疲れない』

(イザヤ 40:31 新共同訳)

「翼をください」と言うフォークソングがあります。

1972年に世に出た歌で、後に中学校の教科書にも採用されたので知っている方も多いと思います。

「この大空に 翼をひろげ 飛んでゆきたいよ
悲しみのない 自由な空へ 翼はためかせ 行きたい」
という言葉が心に響きます。

この作詞者(山上路夫)はどんな人だろう。誰にこの願いを訴えているのだろうか。

聖書は神に希望を置く人がこのような願いがかなえられると言います。

南YMCA「キリスト教」委員会2009

(日本聖公会大阪聖愛教会 木村 幸夫司祭より)

C A R I N G
Y M
R E S P E C T
C A
H O N E S T Y
R E S P O N S I B I L I T Y